

香川の医療最前線

129



◆おかもと・よしき 1999年香川医科大学医学部卒。県済生会病院外科消化器外科部長、高松赤十字病院消化器外科副部長などを経て、2022年から滝宮総合病院に赴任。25年10月から副院長。日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本ヘルニア学会鼠径部ヘルニア修得医。高松市出身。52歳。

太ももの付け根部分に当たると膨らみが生じて、違和感や痛みを引き起こす「鼠径ヘルニア」。一般に「脱腸」とも呼ばれ、国内では年間約15万人が手術を受けているとされる。県内で初めて、日本ヘルニア学会の「鼠径部ヘルニア修得医」に認定された滝宮総合病院副院長の岡本佳樹外科部長に、症状の特徴や治療法などを聞いた。

— 鼠径ヘルニアとは。

鼠径部と呼ばれる太ももの付け根の筋肉が加齢などで緩み、筋肉の隙間や穴から腹膜や腸の一部が外に飛び出てくる状態。40歳以降の男性の発症が多いとされる。ヘルニアの膨らみは、典型的

な大きさで二ワトリの卵ほど。最初は小さくても、指で押したり横になったりすると引っ込み、出入りを繰り返すうちに大きくなっていく。過去には、

療を後回しにする人も少なくない。だが長く放置すると、不快感や痛みが強くなる可能性がある。さらに悪化し、膨れた部分に腸がはまり込む「嵌

鼠径ヘルニア

新資格で高度な治療へ

放置すれば重篤化も

太ももの半分を超すほどの巨大なヘルニアもあった。

— 痛みはいつから。

初期は膨らみだけで、痛みがない場合が多い。場所が下腹部のため、気づかしさもあって、治

頓」という状態になると危険。緊急手術をしないと、詰まった腸管が血流障害に陥り、数時間もすると腸が腐って命にかかわる状態となる場合がある。

— 早期の受診が必要

だ。

立った時や腹部に力を入れた時、鼠径部に違和感や膨らみを感じるなら、まず相談してほしい。なりやすいのは重い物を持ち上げる職業や立ち仕事の人など。肥満状態の人は鼠径ヘルニアが脂肪

「鼠径部ヘルニア修得医」認定制度

日本ヘルニア学会が2024年度に創設

主な認定条件

- 鼠径ヘルニアの基礎知識を習得
- 一定数以上の手術経験
- 学術集会、研究会での発表
- 学会セミナーを受講

— 治療法は。

自然に治ることや薬による治療はなく、基本は外科手術。腹腔鏡を使い、医療用メッシュで鼠径ヘルニアの穴を内側から覆う「腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術」が近年主流となっている。これには腹腔内から広い視野で患部を観察できる「TAPP（タッパ）法」と、腹腔内に道具を入れず、臓器を傷つけるリスクが少ない「TEPP（テップ）法」の2種類がある。このほか鼠径部を直接切開する「鼠径部切開法」もある。

— 県内で初の認定を受けたという「鼠径部ヘルニア修得医」とは。

日本ヘルニア学会が2024年度に導入した新しい認定制度。鼠径ヘルニアに関する知識や手術

経験を持つ医師に対し、セミナーや審査などを行い、その診療の専門性の高さを証明する資格とされている。

— 認定を今後の医療にどう生かしていくのか。

滝宮総合病院での鼠径ヘルニア手術は年間50〜70件ペースだが、患者の状態はさまざま。治療にはいろいろな選択肢があり、修得医として、来年1月に「そけいヘルニアセンター」を開設して、より専門性の高い医療を提供していきたい。もし少しでも膨らみや違和感があるなら、ためらわず気軽に受診してほしい。

■ 滝宮総合病院外科

主な診療内容は消化器、乳腺内分泌、呼吸器、血管などの外科手術治療、がん化学療法など。鼠径ヘルニア外来は毎週木曜日の午後1時〜4時で受け付け、予約なしで受診できる。

所在地：綾川町滝宮486

電話：087（876）1145

<http://www.takinomiya-hp.com>